

島しょ地域における超急性期災害時保健所活動整備事業	
島しょ保健医療圏	
実施年度	開始 令和4年度 終了 令和5年度
背 景	○ 島しょ地域では、従来より噴火、地震、津波、風水害など様々な自然災害のリスクを抱えている。具体的には伊豆大島の三原山が前回の噴火から35年以上経過し、過去の周期から噴火が近々起こりえる点、南海トラフ地震及び首都直下地震が今後30年以内に70%の確率で発生する点、地震発生に伴い津波の被害を各島で受けるリスクが高い点が挙げられる。また、近年では、平成25年の伊豆大島での土砂災害、近隣地域において令和3年の熱海市伊豆山の土砂災害が発生しており、大規模な被害を及ぼす風水害の危険性も高まっている。 ○ 一方で、島しょ地域は、保健、医療ともに人的及び物的資源に限りがあり、また発災時には、本土からの支援を受けるまで時間を要し、交通路となる海路、空路ともに寸断されるリスクがある。そのため、特に超急性期（発生72時間以内、フェーズ0～1）は本土からの支援を得ずに、島しょ地域での限られた資源の中で災害対応を行う事態が起こり得る。 ○ 島しょ保健所では、「災害時における島しょ保健所活動マニュアル」を定め、改訂を図り運用を行っているが、個々の職員が発災時に求められる行動をより明確にし、組織として災害時の活動を円滑に行えるように事前準備する必要がある。 ○ 島しょ保健所での災害時保健活動の基盤を作った上で、各島しょ町村の地域防災計画をもとに、町村と災害時保健活動の連携を更に強化する必要がある。
目 標	○ 計画全体では、島しょ地域での災害時保健活動を保健所内に加え、各町村等の関係機関との連携も含めて整備することを目標とする。 ○ 災害時保健活動の専門家（講師）と連携し、各職種の災害時における行動をより明確化し、保健所内の災害時保健活動体制を整備することを目標とする。
事業内容	【令和4年度】 ○ 災害時保健活動の専門家を大島に招き、現地視察、講習会、意見交換を通じて、職員の災害対応に難する知見と意識を高め、大島また島しょ地域における保健所での災害対応の課題を抽出した。 【令和5年度】 ○ 所内で災害対応オリエンテーションや避難所運営ゲーム研修を実施した。 ○ 災害時保健活動の専門家による新島・神津島の現地視察と島しょ地域の特性を踏まえた講習会を行い、より各島の特性に合わせた災害対応能力を高めた。 ○ 「災害時における島しょ保健所活動マニュアル」をもとに、島しょ保健所の各職種が各災害への対応のためのアクション・カード等を策定し、発生時に迅速に行動できるようにし、策定したものをもとにして災害時対応訓練を行った。
評 価	○ 令和4年度中に遂行できなかったアクションカードの作成や運用訓練について、令和5年度で行うことができた。 ○ 新島支所・神津島支所に専門家を招いての講演会等を通じて島しょ地域での災害時保健活動を保健所内に加え、各町村等の関係機関との連携も含めて整備することができた。 ○ 今後は、引き続き都や町村関係機関との連携を継続していく。また、新島支所・神津島支所でもアクションカードを作成し、災害時保健所活動体制を整備する。
問 合 せ 先	島しょ保健所 総務課 庶務担当 電 話 03-5324-6532 ファクシミリ 03-5324-6533 E-mail S1153601@section.metro.tokyo.jp

1 事業背景・目的

島しょ地域では、従来より噴火、地震、津波、風水害など様々な自然災害リスクを抱えている。具体的には伊豆大島の三原山が前回の噴火から 35 年以上経過し、過去の周期から噴火が近々起こりえる点、南海トラフ地震及び首都直下地震が今後 30 年以内に 70%の確率で発生する点、地震発生に伴い津波の被害を各島で受けるリスクが高い点などがあげられる。また平成 25 年に伊豆大島での土砂災害が発生するなど大規模な被害を及ぼす風水害の危険性も高まっている。

一方で、島しょ地域は、保健、医療ともに人的及び物的資源に限りがあり、また発災時には、本土からの支援を受けるまで時間を要し、交通路となる海路、空路ともに寸断されるリスクがある。そのため、特に超急性期（発生 72 時間以内、フェーズ 0～1）は本土からの支援を得ずに、島しょ地域での限られた資源の中で災害対応を行う事態が起こり得る。

島しょ保健所では、「災害時における島しょ保健所活動マニュアル」を定め、改訂を図り運用を行っているが、個々の職員が発災時に求められる行動をより明確にし、組織として災害時の活動を円滑に行えるように事前準備する必要がある。

島しょ保健所での災害時保健活動の基盤を作った上で、各島しょ町村の地域防災計画をもとに、町村と災害時保健活動の連携をより一層強化する必要がある。

2 事業内容

（1）災害対応オリエンテーションの実施

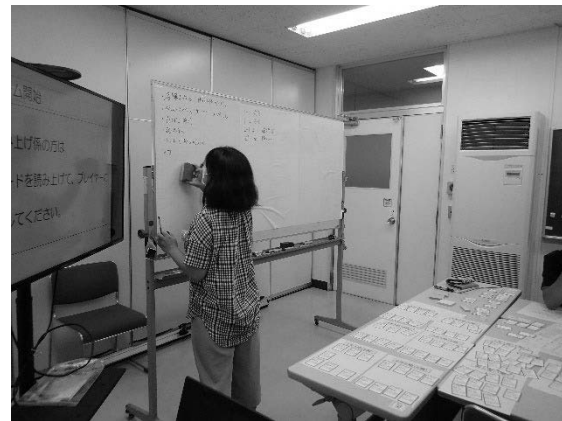
大島出張所の全職員を対象に災害対応オリエンテーションを実施した。大島出張所の防災担当者が大島管内で過去に発生した自然災害の概要や南海トラフ地震の被害想定、島しょ保健所大島出張所における災害対応体制を説明した。各職員が大島管内における災害のリスクや発災時の対応について知見を深めることができた。

（2）所内HUG（避難所運営ゲーム）研修の実施

大島出張所、総務局大島支庁及び教育庁大島出張所合同でHUG研修を実施した。

所属・職種・職層の異なる 5～6 名でグループを編成し、避難所の体育館や教室に見立てた平面図に避難者を配置し、避難所で起こる様々なイベントにどのように対応するか疑似体験した。

参加者からは、「HUG研修を実施後に災害発生時の組織や自分の役割を考えるきっかけとなった」、「改めて職場の災害マニュアルを見返してみた」、などの声が聞かれた。



【所内HUG研修の様子】

(3) 災害時ポケットマニュアルの作成

休日夜間発災時に職場に参集し、災害時活動するまでに必要となる最低限の情報を盛り込んだ災害時ポケットマニュアルを作成した。職員住宅から保健所までの間に土砂災害特別警戒区域があることから、保健所周辺のハザードマップや大島町が作成している避難体制を記載した。また、職員同士で安否を確認するため、同じ住宅の職員と一緒に参集することなどを明記するなど大島出張所の地理的特性や職住近接といった特徴を盛り込んだ。



【土砂災害警戒区域等警戒避難体制の基準】

特別警戒区域 (レッドゾーン)		警戒区域 (イエローゾーン)	
大島町の対応	大島町の対応	大島町の対応	大島町の対応
警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。
警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。
警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。
警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。	警戒区域に警戒区域が設定されている場合は、警戒区域の範囲を拡大し、警戒区域の範囲を拡大する。

出典：大島町防災対策室HP
<https://www.town.oshima.tokyo.jp/soshiki/bousai/hazardmap-r050328.html>

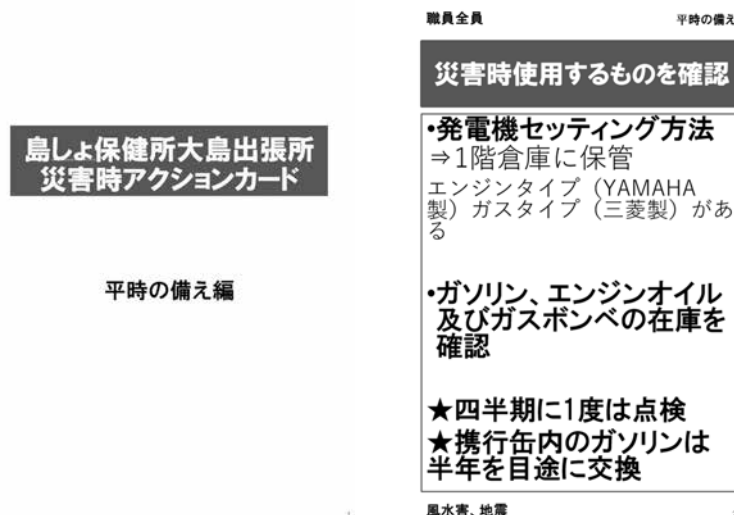
【災害時ポケットマニュアル (抜粋)】

(4) アクションカード

平時及び発災時の初動対応をまとめたアクションカードを作成した。アクションカードは「平時の備え編」「地震編」「風水害編」の3種類を作成した。「平時の備え編」では、非常用発電機の定期的なメンテナンスや、衛星通信端末の充電等について記載した。「地震編」では、庁舎が古く、災害時活動に影響を及ぼす被害を受ける可能性もあることから、登庁前の庁舎被害確認を盛り込んだ。「風水害編」では、過去に窓や扉の隙間から雨が侵入した経験を踏まえて、OA機器などをブルーシートで覆うことなどを記載した。また、少人数かつ多職種職場であることから、その職種の職員が不在であっ

でも必要最小限の初動対応を取れるように配慮した。

さらに、アクションカードの作成に合わせて、所内に配備されている非常用発電機や衛生通信端末の簡易マニュアルを作成するとともに、操作実演会を実施した。



【アクションカード 平時の備え編（抜粋）】

（５）講演会等

国立保健医療科学院の冨尾部長と奥田主任技術員を講師に招き、令和５年１０月に神津島支所、１２月に新島支所で災害時の公衆衛生活動をテーマに講演会を開催した。支所職員だけでなく、総務局大島支庁各出張所職員、村の職員等が参加した。さらに、Webをつないで島しょ保健所総務課及び各出張所の職員も聴講した。各職員が災害時の健康課題や外部支援等について知見を深めることができた。



【講演会の様子】

神津島ではHUG（避難所運営ゲーム）研修も併せて実施し、支所職員、総務局大島支庁神津島出張所職員、都立神津高校職員及び村の職員が参加した。観光シーズンかつ帰省者が多くいるお盆の時期の発災を想定してカードをアレンジし、避難所運営を疑似

体験した。

本研修がきっかけで神津高校の防災訓練でもHUGが取り入れられ、次世代を担う高校生にも防災意識を持たせることができた。また、都職員と村の職員とでコミュニケーションを取りながらHUGを行ったことで、顔の見える関係性づくりを構築することができた。

新島では新島村さわやか健康センターの職員と講師とで意見交換会を行った。新島村の災害時における保健活動の研修や活動マニュアルの素案について活発な議論が交わされた。

(6) 現地視察

講演会に合わせて、避難所等の現地視察を行った。

ア 神津島村生きがい健康センター

村職員による案内のもと、避難所の一つである生きがい健康センターを視察した。避難所として開設された際に避難者が生活するスペースや、館内の備蓄について説明を受けた。

イ 式根島内視察

村職員による案内のもと、新島村式根島を視察した。避難所に指定されている開発総合センター及び式根島小学校や国民健康保険式根島診療所、式根島福祉健康センターを視察し、各施設が災害発生時に果たす役割について説明を受けた。



【式根島内視察の様子】

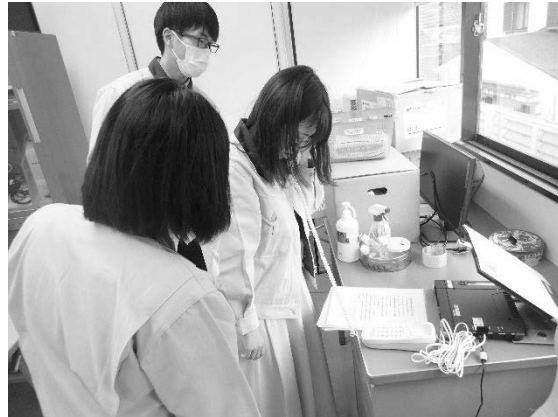
(7) 所内防災訓練

大島出張所の職員を対象にアクションカードの素案を実際に使用して発災時の初動について訓練を実施した。

平日日中に地震が発生したと想定し、アクションカードに従い庁舎の安全確認や第一報の報告、非常用発電機や衛星通信端末の操作方法等について確認した。訓練後、振り

返りを行いアクションカードのブラッシュアップを行った。

職員が実際に発災時に行うべき行動が明確になり、災害に対する意識向上にもつながった。



【所内防災訓練の様子】

3 評価と今後の取組

令和4年度中に遂行できなかったアクションカードの作成や運用訓練について、令和5年度で行うことができた。また、新島支所・神津島支所に専門家を招いての講演会等を通じて島しょ地域での災害時保健活動を保健所内に加え、各町村等の関係機関との連携も含めて整備することができた。

今後は、HUG研修等を通じて引き続き総務局大島支庁や教育庁大島出張所とのつながりを継続していく。また、新島支所・神津島支所でもアクションカードを作成し、大島出張所と合同で運用訓練を行い、出張所と支所の災害時保健活動の連携を強化していく。さらに、利島村にも専門家を招いて講演会等を実施したり、町村の関係機関と研修や意見交換等を実施したりすることで、各町村との連携も引き続き整備していく。